

特集

いま、これだけは押さえない弁膜症診療

企画・構成／泉 知里

診る

- 1 弁膜症治療ガイドライン2020の改訂のポイントと欧米のガイドラインとの相違点
- 2 大動脈弁狭窄症：駆出率の保たれた低圧較差重症大動脈弁狭窄症 診断フローチャートを見直す
- 3 僧帽弁逸脱症：逸脱部位を見逃さないための心エコー診断手順とコツ
- 4 大動脈弁閉鎖不全症：自己弁温存を見据えた大動脈弁のマルチモダリティ画像診断

識る

- 5 僧帽弁閉鎖不全症：弁・弁輪のリモデリング

- 6 心房細動に伴う三尖弁閉鎖不全症：どんな症例に生じる？ どうやって治療する？

- 7 大動脈弁閉鎖不全症：評価のピットフォールと最適な手術時期を識る

- 8 **Expertise** 透析患者の大動脈弁石灰化・僧帽弁輪石灰化の機序と臨床像

- 9 **Expertise** 弁膜症における心臓MRI 4Dフローの臨床応用

治す

- 10 SAVRとTAVIの選択：ACC/AHAガイドラインの記載は妥当か？ 外科医の立場から

- 11 SAVRとTAVIの選択：ACC/AHAガイドラインの記載は妥当か？ インターベンション医の立場から

- 12 心房性機能性MR/TR：どんな症例で心房細動アブレーションは有効か？

- 13 左室機能低下の機能性僧帽弁閉鎖不全症に対する外科治療の実際

- 14 **Expertise** 肥大型心筋症のMRに対してMitraClip (TM) は有効か？

- 15 **Expertise** 三尖弁閉鎖不全症に対するインターベンション治療

バックナンバー

Back Number

2021年12月号 心不全治療にSGLT2阻害薬を使いこなす

企画・構成／室原豊明

診る

1. SGLT2の発見とSGLT2阻害薬の開発経緯 金井好克
2. SGLT2阻害薬のクラス・エフェクトと、ドラッグ・エフェクト 菅沼正司
3. [Expertise]これまでの利尿薬とSGLT2阻害薬の関係、相互作用など 金崎啓造
4. 糖尿病性心筋症を診断する 丹野雅也、長瀬ちひろ、三浦哲嗣
5. 糖尿病患者におけるHFpEFの病態と診断 坂東泰子

識る

6. SGLT2阻害薬の考えられる心不全抑制機序 佐野元昭
7. SGLT2阻害薬の考えられる腎保護作用の機序 丸野紗也子、田中哲洋、南学正臣
8. [Expertise]SGLT2阻害薬のケトン学説とは？ 倉林正彦
9. [Expertise]SGLT2阻害薬は動脈硬化疾患も予防できる？ 東 幸仁

治す

10. SGLT2阻害薬の血糖低下作用の機序と適正使用ガイダンスについて 藤田義人、稲垣暢也
11. 2型糖尿病患者におけるSGLT2阻害薬の心血管アウトカム試験の概要 北風政史
12. 2型糖尿病患者におけるSGLT2阻害薬の腎アウトカム試験の概要 横田祐之介、児玉 豪、深水 圭
13. [Expertise]SGLT2阻害薬は、アジア人で特に有効なのか？ 岩本秀幸、木村友彦、加来浩平
14. 左室駆出率の低下した心不全(HFrEF)におけるSGLT2阻害薬のエビデンス 筒井裕之
15. [Expertise]SGLT2阻害薬はHFpEF患者にも有効か？ 大谷朋仁、坂田泰史
16. 心不全診療におけるSGLT2阻害薬の位置付け 今村輝彦
17. 糖尿病専門医と循環専門医の連携 田中敦史、野出孝一

〈連載〉心臓の解剖【知っておきたい知識 一疾患の病態生理から治療へつなげる解剖学】
第9回 上大静脈の基本構造と疾患 井川 修

2022年1月号 心不全治療のアップデート

企画・構成／坂田泰史

診る

1. 心不全の世界共通定義と分類 筒井裕之
2. BNPの診断意義をもう一度学び直す 猪又孝元
3. 心不全診療における心エコー図法の新たな知見 山本昌良、石津智子
4. 二次性心筋症の早期診断 高潮征爾、辻田賢一
5. [Expertise]心筋症ゲノム医療による精密医療 野村征太郎

識る

6. HFpEFの理解はいまどこまで進んでいるか？ 山本一博
7. 左室駆出率のtrajectoryから心不全を考える 大谷朋仁
8. 画像検査から読み解く糖尿病と心不全の関係 三浦弘之
9. 循環器内科医が知っておくべきCOVID-19の心血管系への影響 岸 拓弥
10. [Expertise]疾患iPS細胞を用いた心筋症個別化医療へのアプローチ 肥後修一朗

治す

11. 神経体液性因子抑制の新しい展開 -ARNIおよび新世代MRA- 桑原宏一郎
12. SGLT2阻害薬による心不全予防と治療 田中敦史、野出孝一
13. [Expertise]心不全におけるcGMP-PKGシグナルとベリシグナト 中村 峻、沼田玄理、瀧本英樹
14. 心房細動合併心不全の治療におけるAFアブレーションの位置付け 井上耕一
15. 心不全を伴う僧帽弁閉鎖不全症治療におけるTEERの役割と功罪：ハイブリッド外科医の視点から 田端 実
16. [Expertise]ついに始まったDestination therapy 細川弘一郎

〈連載〉心臓の解剖【知っておきたい知識 一疾患の病態生理から治療へつなげる解剖学】
第10回 下大静脈の基本構造と疾患 井川 修

2022年2月号 不整脈に対するカテーテルアブレーション治療を改めて考える

企画・構成／池田隆徳

診る

1. 頻脈性不整脈患者の診かた：非侵襲的検査法 篠原徹二、高橋尚彦
2. 頻脈性不整脈患者の診かた：侵襲的検査法 若宮輝宜、草野研吾
3. 三次元マッピングシステムから不整脈を診る 藤野紀之

識る

4. 心房細動に対するアブレーションの適応：日米欧のガイドライン比較 山根慎一
5. 発作性上室頻拍に対するアブレーションの適応：日米欧のガイドライン比較 江口智也、夢田 浩
6. 心室不整脈に対するアブレーションの適応：日米欧のガイドライン比較 因田恭也
7. [Expertise]アブレーション治療における放射線被ばく 宮内靖史
8. [Expertise]CASTLE-AFとそれに関連する臨床試験 近藤祐介

9. [Expertise]CABANAとそれに関連する臨床試験 中野由紀子

治す

10. アブレーションカテーテルの特徴と活用法 合屋雅彦
11. 心不全合併心房細動をアブレーションで治す 野田 崇
12. 特発性心室頻拍をアブレーションで治す 里見和浩
13. 器質的心疾患に起因した心室頻拍をアブレーションで治す 関口幸夫
14. [Expertise]Brugada症候群をアブレーションで治す 小松雄樹
15. [Expertise]心房細動をアブレーションと薬物とのハイブリッドで治す 猪口孝一郎、浅野 拓

〈連載〉心臓の解剖【知っておきたい知識 一疾患の病態生理から治療へつなげる解剖学】
第11回 心房中隔の基本構造と疾患 井川 修